

令和6年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察																																															
1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めていると思いますか。 (感動・感謝、郷土愛、いのちを大切にすること、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など)	2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進 学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。	・心と体を育む教育については、保護者・児童・教職員ともに90%を超えている。各学級による道徳教育の充実、生徒指導の4つの視点を生かした学級づくりの成果の表れだと考える。 ・自ら学びに向かう力を育む教育についてもそれぞれ90%を超えている。一方で、保護者・児童の5%は「そう思わない」という評価も見られ、授業や教材の工夫、個々の実態に応じた指導の在り方を検討する必要がある。																																															
<table border="1"> <caption>Item 1: Rich heart and healthy body</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>51%</td><td>42%</td><td>3%</td><td>1%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>67%</td><td>26%</td><td>3%</td><td>3%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>44%</td><td>50%</td><td>6%</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	51%	42%	3%	1%	3%	児童	67%	26%	3%	3%	3%	教職員	44%	50%	6%			<table border="1"> <caption>Item 2: Self-learning ability</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>42%</td><td>48%</td><td>5%</td><td>5%</td><td></td></tr> <tr><td>児童</td><td>49%</td><td>46%</td><td>5%</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>31%</td><td>69%</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	42%	48%	5%	5%		児童	49%	46%	5%			教職員	31%	69%		
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	51%	42%	3%	1%	3%																																												
児童	67%	26%	3%	3%	3%																																												
教職員	44%	50%	6%																																														
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	42%	48%	5%	5%																																													
児童	49%	46%	5%																																														
教職員	31%	69%																																															
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進																																																	
3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進 学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組など)		・社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進について、教職員は100%、保護者・児童は約90%が肯定的な評価であった。学校のきまりは、すべての保護者・児童の意見をもとに見直しを進めており、「自分たちのきまりは自分たちで作って守る」というように、自ら判断し行動できる児童の育成を目指していく。また、「わからない」という評価も数パーセントあるため、きまりや学校生活の見直しを行う過程を低学年から丁寧に行い、学校だよりやホームページ等で保護者へ発信していきたい。																																															
<table border="1"> <caption>Item 3: Contribution to society</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>44%</td><td>45%</td><td>5%</td><td>1%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>48%</td><td>43%</td><td>5%</td><td>4%</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>50%</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	44%	45%	5%	1%	5%	児童	48%	43%	5%	4%		教職員	50%	50%																											
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	44%	45%	5%	1%	5%																																												
児童	48%	43%	5%	4%																																													
教職員	50%	50%																																															
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
4 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。	学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていると思いますか。	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について、保護者・児童・教職員と80%を超えている。しかし、「そう思わない」と感じる児童、保護者がいる。学習の個性化と指導の個別化を教職員がさらに明確にし、児童にも保護者にもそこを意識し、伝えるような授業づくりをしていく必要がある。 ・「対話」においては、保護者・児童ともに約90%が肯定的な評価であった。個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図っていきたい。																																															
<table border="1"> <caption>Item 4 (Left): Individualized learning</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>31%</td><td>53%</td><td>6%</td><td>3%</td><td>8%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>50%</td><td>37%</td><td>8%</td><td>1%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>19%</td><td>75%</td><td>6%</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	31%	53%	6%	3%	8%	児童	50%	37%	8%	1%	4%	教職員	19%	75%	6%			<table border="1"> <caption>Item 4 (Right): Collaborative learning</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>47%</td><td>41%</td><td>6%</td><td>1%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>69%</td><td>24%</td><td>4%</td><td>1%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>31%</td><td>69%</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	47%	41%	6%	1%	5%	児童	69%	24%	4%	1%	1%	教職員	31%	69%		
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	31%	53%	6%	3%	8%																																												
児童	50%	37%	8%	1%	4%																																												
教職員	19%	75%	6%																																														
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	47%	41%	6%	1%	5%																																												
児童	69%	24%	4%	1%	1%																																												
教職員	31%	69%																																															
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実 学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。	7 インクルーシブ教育の推進 学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。	・学校の温かい雰囲気については、保護者は約90%、児童・教職員は95%以上の高い評価であった。「きずなアンケート」や「キミノミカタ」を活用した丁寧な聞き取りや児童同士、職員との温かい人間関係の表れだと思われる。 ・インクルーシブ教育の推進については、児童・保護者は約90%、教職員は100%肯定的な評価であった。それぞれの違いを認め合い、共に学び合う児童の姿が表れていると思われる。みんなの合言葉「自分も周りも大切に」も浸透してきている。																																															
<table border="1"> <caption>Item 6: Support for diverse needs</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>38%</td><td>51%</td><td>5%</td><td>3%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>69%</td><td>26%</td><td>1%</td><td>1%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>69%</td><td>31%</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	38%	51%	5%	3%	4%	児童	69%	26%	1%	1%	2%	教職員	69%	31%				<table border="1"> <caption>Item 7: Inclusive education</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>40%</td><td>47%</td><td>7%</td><td>2%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>65%</td><td>31%</td><td>1%</td><td>1%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>25%</td><td>75%</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	40%	47%	7%	2%	4%	児童	65%	31%	1%	1%	2%	教職員	25%	75%		
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	38%	51%	5%	3%	4%																																												
児童	69%	26%	1%	1%	2%																																												
教職員	69%	31%																																															
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	40%	47%	7%	2%	4%																																												
児童	65%	31%	1%	1%	2%																																												
教職員	25%	75%																																															

(3) 最適な教育環境の整備

8 安全・安心な園づくりの推進		9 地域や家庭と連携した教育環境の整備																																
学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。	学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。	保護者	児童																															
<table border="1"> <caption>Item 8: Safety and安心 environment</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>43%</td><td>45%</td><td>12%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>80%</td><td>15%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>38%</td><td>56%</td><td>6%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	43%	45%	12%	児童	80%	15%	5%	教職員	38%	56%	6%	<table border="1"> <caption>Item 9: Collaboration with community and family</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>46%</td><td>41%</td><td>13%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>63%</td><td>28%</td><td>9%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>44%</td><td>56%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	46%	41%	13%	児童	63%	28%	9%	教職員	44%	56%	0%	<p>・安全、安心な学校づくりについては、昨年度同様に約90%以上肯定的な意見であった。避難訓練は今後、毎回設定を変えるなどして有事に備え、日頃から考えて行動し、自分の命は自分で守ることができる児童を育成していく。</p> <p>・地域や家庭と協力した教育活動については、地域の人材を活用した学習（総合、社会）やまちづくりセンターとの連携事業等充実した学習の成果が表れているものと思われる。児童の「そう思う」割合も高い。今後の地域と連携して教育活動を進めていきたい。</p>
Category	Yes	No	Other																															
保護者	43%	45%	12%																															
児童	80%	15%	5%																															
教職員	38%	56%	6%																															
Category	Yes	No	Other																															
保護者	46%	41%	13%																															
児童	63%	28%	9%																															
教職員	44%	56%	0%																															

(4) こどものいのちと権利の擁護

10 こどもの最善の利益を守る環境づくり																	
学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。	学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。																
<table border="1"> <caption>Item 10: Best interests of children</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>35%</td><td>52%</td><td>13%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>69%</td><td>28%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>31%</td><td>69%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	35%	52%	13%	児童	69%	28%	3%	教職員	31%	69%	0%	<p>・児童の97%が肯定的な評価であった。授業や「くらしのきまり」見直しの過程の中で自分たちの意見が大切にされていることを実感できているものと思われる。また、相談体制については、毎月のみずなアンケートや担任との面談、保健室での相談、SCによるカウンセリング、タブレットを活用した相談など、個に応じた選択肢がある。今後も、児童・保護者が相談しやすい体制づくりに努め、学校ホームページ等で周知していく。</p>
Category	Yes	No	Other														
保護者	35%	52%	13%														
児童	69%	28%	3%														
教職員	31%	69%	0%														

(5) 河内小学校の教育「笑顔・元気・やる気」があふれる学校

笑顔		元気																																
子どもは、約束やルールを守り、友達と仲良く生活していると思いますか。	子どもは、好き嫌いや食事、適度な運動と十分な睡眠に気を付けて生活していると思いますか。	子どもは、約束やルールを守り、友達と仲良く生活していると思いますか。	子どもは、好き嫌いや食事、適度な運動と十分な睡眠に気を付けて生活していると思いますか。																															
<table border="1"> <caption>Smile</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>38%</td><td>53%</td><td>9%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>78%</td><td>19%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>44%</td><td>56%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	38%	53%	9%	児童	78%	19%	3%	教職員	44%	56%	0%	<table border="1"> <caption>Energy</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>36%</td><td>55%</td><td>9%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>51%</td><td>34%</td><td>15%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>6%</td><td>81%</td><td>13%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	36%	55%	9%	児童	51%	34%	15%	教職員	6%	81%	13%	<p>・「笑顔」については、昨年度と同様に肯定的評価が三者ともに90%を超えており、友達と仲良く生活できていることがうかがえる。</p> <p>・「元気」については、昨年度より児童・教職員の肯定的な評価が増えた。食べ物の好き嫌いや十分な睡眠時間の確保については今後も課題を共有し、家庭と連携した取組を進めていく。</p>
Category	Yes	No	Other																															
保護者	38%	53%	9%																															
児童	78%	19%	3%																															
教職員	44%	56%	0%																															
Category	Yes	No	Other																															
保護者	36%	55%	9%																															
児童	51%	34%	15%																															
教職員	6%	81%	13%																															
やる気		やる気																																
子どもは、授業で進んで自分の意見を発表したり、友達に伝えたりしていると思いますか。	子どもは、授業で進んで自分の意見を発表したり、友達に伝えたりしていると思いますか。	子どもは、授業で進んで自分の意見を発表したり、友達に伝えたりしていると思いますか。	子どもは、授業で進んで自分の意見を発表したり、友達に伝えたりしていると思いますか。																															
<table border="1"> <caption>Motivation</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>41%</td><td>43%</td><td>16%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>56%</td><td>33%</td><td>11%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>25%</td><td>75%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	41%	43%	16%	児童	56%	33%	11%	教職員	25%	75%	0%	<table border="1"> <caption>Motivation</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>41%</td><td>43%</td><td>16%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>56%</td><td>33%</td><td>11%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>25%</td><td>75%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	41%	43%	16%	児童	56%	33%	11%	教職員	25%	75%	0%	<p>・進んで自分の意見を伝え合っているかについては、保護者・児童は約85%、教職員は100%肯定的な評価であった。授業の中で自分の考えを自分なりの言葉で伝え合うことができるようになってきた。伝えることに苦手意識のある児童もいるが、安心して発表できる環境づくりに努め、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにする。</p>
Category	Yes	No	Other																															
保護者	41%	43%	16%																															
児童	56%	33%	11%																															
教職員	25%	75%	0%																															
Category	Yes	No	Other																															
保護者	41%	43%	16%																															
児童	56%	33%	11%																															
教職員	25%	75%	0%																															

来年度の具体的な取組について

- ・授業力向上に向けては、「対話」を授業の中核に据えた授業づくりを、ステップアップサポーター等外部講師を活用しさらに深めていく。また、学習の個性化と指導の個別化を授業の中で明確にし、学ぶ内容やペースを自分で決めて学び取っていくスタイルの確立も図り、子ども一人一人を尊重した教育の推進を行う。
- ・児童の意見を学校指定物品やくらしの見直しに反映させ、またそのフィードバックを丁寧に行うなどして、児童が自分たちの意見が大切にされていることを実感できるようにするとともに、児童の権利を守る学校の雰囲気づくりを高める。
- ・児童の体力を高めるために、委員会活動や小中合同の「健康教育部会」の体力向上の取り組みを継続し、「元気」のパワーアップをさらに図りたい。
- ・今年度、新たに地域人材の活用を行った。各学年で開発した地域教材を蓄積・データ化し、今後の教育環境の整備に努める。
- ・地域の人材や環境を生かした総合学習や社会科の教育の充実を図り、さらに郷土愛を育むとともに、命の大切さを考える講演会等外部専門機関と連携した教育の充実を努める。

小中学校関係者評価

- ・授業においては、落ち着いて学んでいる姿があり安心している。ICTの活用にも慣れていくようで素晴らしい。
- ・自分で進んで発表する姿勢がどの教室でも見られ、先生方の指導の素晴らしさや今の教育の在り方を実感することができた。今日の「命の大切さを考える講演会」でも多様な性を認め、お互いを尊重する大切さを学ぶことができ、素敵な時間を子どもたちとともに過ごすことができた。
- ・地域で児童の遊んでいる様子が見えないが、学校でしっかりと体を動かしているようで安心した。
- ・校区は大型トラックに行き来が多く、児童の登下校を心配している。雨の日の傘の差し方も心配なところもある。今まで以上に安全教育の充実をお願いしたい。
- ・ネグレクトやヤングケアラーなど心配な社会問題もあるが、地域と学校が協力して実態把握や問題解決に努めてほしい。